

受講申込及び登録申請書

申請日 令和 3 年 9 月 9 日

東京都知事 殿

私は、被災宅地危険度判定制度に協力したいので、令和 3 年度東京都被災宅地危険度判定士養成講習会の受講を申し込むとともに、登録を申請します。

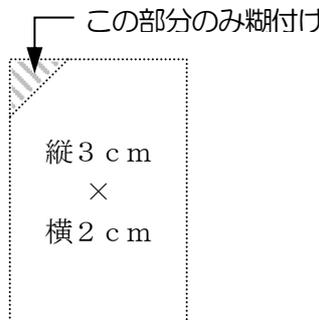
(ふりがな) 申請者氏名		生年月日	西暦 年 月 日
住所		〒 TEL ()	
勤務先	住所	〒	
	名称 部署	TEL ()	

申請者は、次のうち該当するいずれか一つの欄に「○」を付け、それぞれ → にある書類を添付してください。

資格要件該当	東京都被災宅地危険度判定士認定登録要綱第3条第1項第1号該当 宅地造成等規制法施行令第17条又は都市計画法施行規則第19条第1号イからトに規定する設計者の資格を有する。	【添付書類】 資格要件申告書（様式第2号） 資格要件申告書で添付することとされている書面
	東京都被災宅地危険度判定士認定登録要綱第3条第1項第2号該当 国又は地方公共団体等の職員（職員であった者を含む。）で、国又は地方公共団体の職員として土木・建築又は宅地開発に関する技術に関して3年以上の実務経験を有する。	実務経験証明書（様式第3号）

写真（縦3cm×横2cm）添付欄（1枚）

（注） 写真の裏面に氏名を記入してください



「受講申込及び登録申請書」記入上の注意

- 1 この申請書は、東京都被災宅地危険度判定士養成講習会の受講を希望し、被災宅地危険度判定士として登録を受ける意思があり、資格要件を満たしている方のみ提出してください。
- 2 「申請日」は、「講習会の開催日」を記入してください。
- 3 この登録申請書には、あなたの資格要件によりそれぞれ定められた添付すべき書類がありますのでご注意ください。詳しくは、この用紙を入手した都又は区市町村窓口にお問い合わせください。
- 4 各欄の記入手順
 - (1)「申請者氏名」欄には、運転免許書等の公的な証明書で確認することができるあなたの氏名を楷書で判読できるように記入し、ふりがなを付けてください。生年月日は、西暦で記入してください。
 - (2)「住所」欄には、住民登録等の有無に関係なく、現在あなたが日常生活の本拠としている住所（通常、生活の場としている、連絡のとることができる所）を記入してください。「電話番号」は、最も確実に連絡がとれる番号を記入してください。
 - (3)「勤務先」欄には、現在あなたが勤務している会社等の名称、所属局部課名と、その所在地の住所を記入してください。「電話番号」は、「住所」欄と同様に連絡が最も確実にとれる番号を記入し、勤務先の代表番号のみ記入する等、非常時の連絡に手間がかかる可能性のある番号は避けてください。
 - (4)「資格要件該当」欄のどちらか該当する区分に○を付けてください。
なお、○を付ける欄により添付する証明書等の種類が異なります。
第3条第1項第1号の欄に○をつけた場合には、「資格要件申告書（様式第2号）」とこの「申告書」の中で添付することとされている書面が必要となります。
第3条第1項第2号の欄に○をつけた場合には、「実務経験証明書（様式第3号）」を添付することになります。
 - (5)写真添付欄に証明写真（縦3cm×横2cm 顔の判別できるもので 白黒、カラーどちらでも可）を左隅上部のみ糊付けして添付してください。万が一はがれても申請者と照合できるように裏面に氏名を記入してください。この写真は、被災宅地危険度判定士登録証に使用します。